

鹿児島大学での 「市長と語る会」発言に対する対応方針

〔開催概要〕

日時: 令和4年7月21日(木) 10:50～12:00

場所: 鹿児島大学

令和4年9月

鹿児島市 市民協働課

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年7月21日（木）10：50～12：00

場所：鹿児島大学

| 番号 | 発言者 | 提案等要旨 | 市長発言要旨 | 関係部局 | 検討結果、今後の方針等 |
|----|-------------|--|--|--------------|---|
| 1 | 鹿児島大学 学生 | <p>タイトル：さくらじま乗合タクシー導入による桜島地区の交通・買い物弱者支援策</p> <p>桜島における65歳以上の割合は、49.5%であり、高齢化が進んでいる一方で、日用品購入場所は西側に集中し不足していることから、交通弱者、買い物弱者の支援をするため、「さくらじま乗合タクシー」を導入してはどうか。</p> <p>【導入案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用対象者：桜島東部地域の住民 ・運行日：毎日 ・利用区間：自宅・バス停～桜島港、Aコープなど ・運賃：バス停利用、自宅利用で差別化、また自宅利用者についても、免許返納者は低料金で利用できる設定。 ・予約方法：電話予約（事前予約制） | <p>交通弱者 買い物弱者への支援は、旧5町だけの問題ではなく団地などでも考えられる大きなテーマである。</p> <p>交通弱者等への支援としては、今回の提案の「人の移動」と、移動販売などの「物の移動」が考えられるが、「人の移動」では、物を買うだけでなく、高齢者のフレイル予防にもなり、また、話すことで人とのつながりなどの効果がある。</p> <p>現在、実現できていないのには2つ理由がある。</p> <p>1つ目は、コスト面である。現在、桜島を走らせている市バスでは毎年4,000～6,000万ほどの赤字が出ており、その赤字は市が補填している状況である。タクシーの事業を始めると、バスに乗る人が少なくなるので、赤字補填の額がさらに増えることが考えられる。</p> <p>2つ目は、桜島東部地域の住民に限ったサービスの提言であったが、行政が行う事業は公平性が問われるため、黒神地区はサービスが使えて、他は使えないという説明ができる必要がある。</p> <p>いい提案だと思うので、「コスト面」や、「なぜここでこのサービスが必要なのか」、立証できるように深堀してもらえたらと思う。</p> | 企画財政局 市民局 | 市長回答のとおり |
| 2 | 鹿児島大学 学生 | <p>タイトル：さくらじまアソビの学校－廃校に再び子どもたちを－</p> <p>桜島地区の8校が廃校になることが決まり、かつて子どもが集まっていた学校を再び子ども達が集まれる場所として再利用するため、大人も子どもも一緒に楽しめる桜島最大のレクリエーションパーク（図書館を併設したサバイバルゲーム施設）を整備する。</p> | <p>廃校活用は重要なテーマであると考えている。</p> <p>校舎は50～60年経って老朽化が進んでおり、維持も難しいが、一方、特に体育館は築15～20年と比較的新しいものもあり、利活用が大事である。</p> <p>活用方法として、サバゲーもひとつはあるかなと思う。今後は、地域の方やNPOを含めた民間の方々に活用のアイデアを伺っていきと思っている。その中で、今回の提言のようなアイデアが出てくると良いのではと思っている。</p> <p>一つ事例を紹介すると、自習室的な活用として、単に自習するだけでなく、先輩が後輩の勉強を見てもらう（高校生⇒小中学生を、大学生⇒高校生を）といった機能を喜入で高校生が自主的に立ち上げ、公民館で行われている。こういった事例も参考になると思うし、今後、機会があれば、みなさんも大学生、社会人の立場で、後輩の学習支援に取り組んでいただけると嬉しいと思う。</p> | 市民局 教育委員会 | 市長回答のとおり 新校施設及び跡地の利活用については、地域の声を踏まえ、将来的な地域づくりを見越しながら、既存設備の老朽化を考慮したうえで有効活用していくことが求められます。 学校施設及び跡地が効果的かつ経済的に、また、持続可能な利活用がなされるよう、各地域コミュニティ協議会を中心とした活用策の検討を支援します。 |

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年7月21日（木）10：50～12：00
場所：鹿児島大学

| 番号 | 発言者 | 提案等要旨 | 市長発言要旨 | 関係部局 | 検討結果、今後の方針等 |
|----|-------------|--|--|-------|-------------|
| 3 | 鹿児島大学 学生 | <p>タイトル：鹿児島市における魚類支出額向上</p> <p>年々、魚の消費量が減少傾向にある現状を解決するため、学校給食への提供を増やすことで、幼少期に魚を食べる機会を増やし、魚類の消費量を増やす。 また、学校給食に導入しやすい魚類の加工品を製造する加工工場を整備する。</p> | <p>課題設定をする際に、「必要性」、そして「行政が解決する課題か」考える必要がある。（直接利益を受けない方からの税金を使って、問題解決投入するということを正当化できるかどうか）</p> <p>その中で今回この課題を設定する際に、魚ばなれが問題となっている一番の理由は何だと考えましたか。 （⇒漁業関係者や、関連産業に従事する人の生活に影響がでる。（学生回答））</p> <p>鹿児島で水揚げされる魚を消費する必要がある。 解決案として、給食に着眼点を置いたのは面白いが、工場を建設することは大変なことである。確実に儲けができるのであれば民間がする。民間が手を出さない理由はなぜだと思ふか。 （⇒企業単体で利益ができるため、それぞれの企業が手を出すことになるため、お互いが牽制し、結果的に民間が控えていると思う。（学生回答））</p> <p>おそらく、企業は儲からないと判断している。そういった場合、「補助を出して、民間が建設する」や「行政で工場を建設し、製品製造は民間が行う」などいろんなアプローチが考えられる。</p> <p>現状のままでは、民間は手を出さないの、どうしたら民間が動くかという観点で考えることが大事。 将来、公務員になったら、どういったインセンティブを付けると民間企業に動いてもらえるかなど、アプローチを考えた上で政策提言をしてもらえるとう嬉しい。</p> | 産業局 | 市長回答のとおり |
| 4 | 鹿児島大学 学生 | <p>タイトル：防災のためのイベント案</p> <p>鹿児島の若者は水害の経験がなく、水害に対して危機感がなく対策を行っていないことから、8・6水害を知ってもらい、防災意識を高めるため、8・6水害を伝える展示ブースや、水害を体験できるVR体験ブースを設置したイベントを開催する。</p> | <p>VRで災害体験ができるアイデアは、災害を他人ごとではなく、自分事にする仕掛けとして面白いと思った。 私からの皆さんへのお願いですが、6月の市民のひろばで案内したハザードマップを是非みなさんに見てもらいたい。皆さんがよくいる自宅やバイト先など、雨が降った時に最大どれくらい、水に浸かるか確認してほしい。 そのうえで、VRでどの程度浸かるか体験してもらえるとわかりやすいと思う。</p> | 危機管理局 | 市長回答のとおり |

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年7月21日（木）10：50～12：00

場所：鹿児島大学

| 番号 | 発言者 | 提案等要旨 | 市長発言要旨 | 関係部局 | 検討結果、今後の方針等 |
|----|-------------|--|--|-------|-------------|
| 5 | 鹿児島大学 学生 | <p>タイトル：8・6豪雨と防災</p> <p>8・6豪雨から30年という月日が経過し、災害に対する危機意識が低下している現在、改めて8・6豪雨の記憶を甦らせ、防災への関心を高めるため、8・6防災川柳大会、非常食アレンジ大会を開催する。</p> | <p>アレンジ非常食は非常に面白いアイデアだと思う。災害時はそのような余裕はないと考えるため、平常時にローリングストック（非常食を古いものから使って備蓄すること）での非常食備蓄に繋がるアイデアだと思う。</p> <p>ぜひ、みなさんにも3日程度の食料の備蓄をお願いしたい。支援が来るまで時間がかかるため、概ね3日程度の備蓄が必要である。食料のほか水も重要である。</p> <p>また、今はコロナが流行っており、行政でも食料支援は行っているが、申込から配達まで、タイムラグがある。そういった観点からも備蓄は重要である。特に、皆さんのように一人暮らしの方は、食料を備蓄してほしい。そういったときに、今回の提案のアレンジ食があれば、非常食を入れ替えるときに楽しみができて非常に良いと考える。</p> | 危機管理局 | 市長回答のとおり |
| 6 | 鹿児島大学 学生 | <ul style="list-style-type: none"> ・女性の社会進出やジェンダー問題に興味がある。 ・現在、鹿児島市の女性活躍アドバイザーは1人しかおらず、その方以外に、もっと若い方に女性活躍アドバイザーを登用することはしないのか。 ・新しい世代の方の登用についての考えについて。 | <p>ちょうど昨日、女性活躍アドバイザーと意見交換があった。今は、仕組み作りの時期という観点から登用している。たとえば、「ワークライフバランスの取れた職場」や、「次世代を担う女性管理職を増やす方法」の仕組みの話で提言をいただいたところで、このようなことを考え、今は一定のキャリアのある方にやってもらっている。</p> <p>これから管理職を目指す方々がどうやったら働きやすいのか、審議会等で、女性の方々とお会いしたときに、そのような話を聞いてみたいと思う。</p> | 市民局 | 市長回答のとおり |

「市長と語る会」発言に対する対応方針

別紙（発言要旨）

日時：令和4年7月21日（木）10：50～12：00
場所：鹿児島大学

| 番号 | 発言者 | 提案等要旨 | 市長発言要旨 | 関係部局 | 検討結果、今後の方針等 |
|----|-------------|---|--|-------|-------------|
| 7 | 鹿児島大学 学生 | <ul style="list-style-type: none"> ・将棋を15年ほどしていて、その中で、勉強ができるから将棋ができるという相関もあれば、逆に将棋ができるから勉強ができるという相関もあると思っている。 ・小さいころから将棋をやってきた友人たちは、鹿児島県の学習調査データの平均より高い人が非常に多かったと記憶している。 ・そこで、将棋などの頭を使うボードゲームを小中学校の学習の一環に取り組みことはできないか。 | <p>相関関係が科学的に立証出来たら、教育課程に組み込むことはできると思っているが、それが出来ないとなると、部活動やクラブ活動で機会を作ることになる。</p> <p>私も将棋をしているが、相手がどう出るか考える癖が付いたことがよかったと思う。つまり、将棋は「三手の読み」が基本で、ここで大事なのが「相手がこうする」というのを甘く見ないことである。</p> <p>よく言われるのが「勝手読み」と言って、自分が思っていたことと相手の行動が違い、思った以上の反撃があることである。</p> <p>今日いろんな政策を提案いただいたが、実際に動くのは民間の方で、どういう政策をしたら、民間の方が動いてくれるんだろうと読むが、読みを外すと政策がうまくいかないことになる。</p> <p>将棋で相手の動きを読む癖が付いたことで、将棋をやったよかったと思っている。</p> | 教育委員会 | 市長回答のとおり |
| 8 | 鹿児島大学 学生 | <ul style="list-style-type: none"> ・天文館の電車どおり沿いに、公衆トイレを作ってほしい。 ・高速バスを利用することがあり、天文館のバス停を利用するが、トイレを利用する際に、お店に入って買い物をして、利用させてもらうため、公衆トイレを作ってほしい。 | <p>バスの利用者ということなので、一義的にはバスの運行会社が共同で設置することとなると思う。</p> <p>今後、バスのターミナル機能をどのようにもたせるのかという動きもあるかと思うので、そういった面で考慮させていただきたいと思っている。</p> | 企画財政局 | 市長回答のとおり |